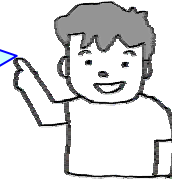


出水市景観計画 出水麓・本町商店街 景観まちづくり講座ニュース 第3号

第3回出水市 景観まちづくり講座を開催しました！

この景観まちづくり講座は、地域の皆様の意見や考えを景観計画に活かすために、共同作業をしながら、地域の景観まちづくりを考える場として始まりました。今回で最後となります。

10月2日(金)午後2時より出水市民交流センターで開催し、地元自治会代表の方など15名の方々に参加いただきました。



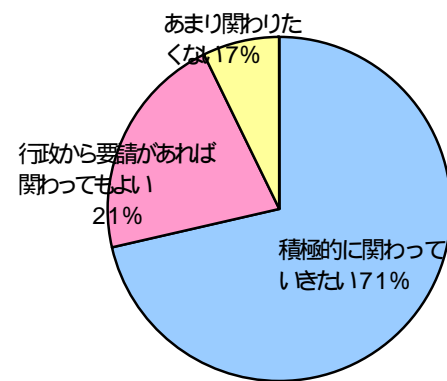
開催スケジュール

平成 21 年度	第1回済 8/28	地域の景観の良い点・改善点を考えよう
	第2回済 9/11	景観づくりのアイデアを考えよう
	第3回済 10/2	アイデアの実現に向けた進め方を考えよう 第1回・第2回の成果を踏まえ、地域で進める景観づくりとして、優先して取り組むべきことや、取り組みの進め方などを考えました。

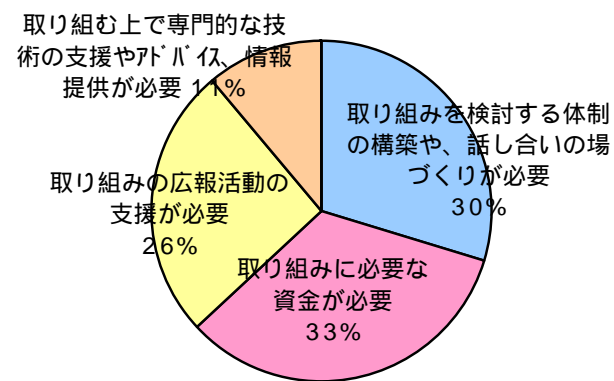
当日の参加者アンケート結果

景観づくりの取り組みへの関わり方として、今後も景観づくりについて積極的に関わっていききたい、要請があれば関わってもよいという方が大半を占めました。
また、取り組みに必要な行政の支援として、資金や取り組み体制の構築などが必要といった回答が多く寄せられました。

【景観づくりの取り組みへの関わり方】



【取り組みに必要な行政の支援】



<自由意見(一部)>

- ・大変に良かったと思います。希望が持てました。
- ・過去がとてもおもしろかったらうなと残念に思います。夜でもしていただけたら最高です。
- ・地域住民のヒアリングを大切に、まちづくりに活かしていただきたい。
- ・3回だけの話し合いでは結論の出来るものではないので、引き続き定期的な意見交換の機会をつくってほしいと思います。
- ・景観まちづくりを今後タイムリーにアナウンスしてほしい。

今後の予定

今回皆様からいただいたご意見は、景観計画策定委員会での検討を経て、景観計画に反映します。また、今回ご議論いただいた「景観づくりの取り組み」を実現していくために、今後もこの講座を何らかの形で続けていければと考えています。引き続き地域の皆様のご協力をお願いします。

当日の様子

出水麓・商店街の地域別に3班に分かれ、景観づくりの取り組みの評価と具体的な進め方を考えました。

<共同作業の流れ>

取り組みを確認しよう！

第2回講座の意見をもとに事務局で検討した取り組みの内容を確認しました。



取り組みを評価しよう！

「優先的に実施すべき取り組み」等にシールを貼りました。



取り組みを選ぼう！

班で3つ程度の取り組みを選びました。



取り組みの進め方を考えよう！

選んだ取り組みについて、具体的な進め方を考えました。



話し合った内容を発表しよう！

各班の意見を発表しました。



<できあがった表>

(取り組みの評価:2班(出水麓))

(具体的な進め方3・4合同班(商店街)の例)

<発表の主な内容>

<1班>

- ・重要度、緊急度以外に、お金をかけずにできるという点も取り組みの評価として重要
- ・年配の人だけでなく、子ども達と取り組むことで、地域の後継者を育てたい
- ・各地域がお祭りなどにばらばらに取り組んでいるので、市全体で調整し連携していく必要がある
- ・新聞・テレビなどマスコミを通じて景観の良さを伝え、効果的かつ予算面でも有効では

<2班>

- ・地域・住民、行政の「連携」がキーワード
- ・出水駅東口から広瀬橋、商店街までの一貫した景観をつくる必要があるのでは
- ・商店街と武家屋敷が合同で、月1回祭りにあわせて掃除をする

<3・4合同班> 第1回・第2回の講座での3班・4班を、1つの班にして議論しました

- ・ルールをつくることにより、街なみを、江戸時代から大正・昭和にかけてのイメージに統一する
- ・植物やのれんなど、一部同じものを揃えることで統一感ある街なみをつくる
- ・鬼坂など商店街と麓をつなぐ道を里道として整備する。溝等を活用し、雰囲気ある道をつくる
- ・非常に目立つ空き店舗に対して、活用方法を話し合う、市が買い上げるなどの対策を行う

【各班の作業結果】

取り組みの評価					具体的進め方						
取り組み	シールの数			意見	具体を検討した班	何を	どのように	誰が、誰に	いつ	お金は	どこで
	1	2	3・4								
1	0	5	7	・これまでは別々（伝建、商店街）だったが協力体制がもっと必要！観光協会として地区を一体化させたい（2班） ・横の連携は難しいがそれをやらないとお金を落としてもらえない（2班）	3・4 (1)	・武家屋敷と同じような植栽 ・ワゴンセールスのワゴンなどを統一したものにする	・ファサードの一部やシャッターをまなこ壁にする	・商店街の店舗	・すぐにでも検討を始める	・商店街の各店舗	
2	1	2	1								
3	0	4	4		2	・城山に遊歩道と展望台をつくる		・行政（市）	・3～5年	・国の活性化資金	・麓と商店街が一望できる場所
4	0	0	1		2	・橋の歩道のデザイン	・武家屋敷のイメージ	・行政が連携			
5	1	4	0								
6	2	4	2	・お金がかからない（1班）	2	・清掃活動		・住民+商店街が一緒に！ ・連携（昔は繋がりが深かった）	・年1回ではなく月1回 ・ふれあい市などタイアップイベント時に		
7	3	3	5	・ふれあい市（11月）を（月に1回）商工会議所主催予定（2班） ・伝建の人が知らない事は問題（2班）	1	・地藏祭り ・芋煮会 ・ぐいぐい祭り ・武家屋敷でのイベント	・5月節句、6月花、7月七夕などを実施している ・お茶会 ・着物着た女性による琴演奏会	・マスコミに定期的にイベントを連絡し、広い範囲に広報すると有効			・竹添邸など
8	3	1	3	・市の観光交流課にマップはある1hrコース、2hrコースなどが見えず、不親切（2班）							
9	3	4	1	・入口の案内を明確に！色々多すぎて分かりづらい（2班）	2	・案内板のデザイン	・コンセプトをしっかりと持ち統一 ・東口から進める	・行政が連携 ・地元を入れて協議		・国の活性化資金	・伝建地区と商店街
10	0	1	0	・近在住民の参画意識の高揚重要（2班）							
11	3	3	5		1	・祭は、地域外の人と話し合う良い機会 ・なかなか関係が繋がっていない	・祭りの責任者を集めて、日程や人の交流の調整、街づくりの情報交換をする	・各地域の祭りの責任者 ・観光協会などが主導	・祭り準備期間		
					3・4	・店舗と住居部分を区別する改修 ・空店舗の活用についての話し合いの場を設ける			・話し合いはすぐにも！	・市の買い上げ	・一番目立つ場所から
12	0	3	5	・空地（空き家）は景観的にも良くないので手入れできる仕組みを！（2班）	3・4	・商店街、麓を周遊するルートを里道として整備	・商店街と麓をつなぐ看板の設置 溝の幅を小さくして水辺の風景、雰囲気をつくる ・溝に蓋をして里道を一緒に歩けるスペースにする ・ホテルの見所	・地元の意見を聞く			
13	0	1	1	・市民が頑張るのが重要（1班）							
追加	4	-	-		1	・市民のまちづくり活動を、行政が支援する ・活動に参加する人材を集める、資金 ・がんばっていたさわやか女性の会は活動が続けられなかった	・次のような市民活動を人材集め、資金等の面から支援する 花に水をやる 花・緑の手入れを各団体が競う 通りを掃除、草刈 出水麓の牛車	・行政など大人が企画・力をだし、子供たち（小中）が活動する 跡取りを育てたい ・シルバー世代 ・団塊の世代の参加を増やす必要がある	・5～6月/1回（今）		・まち中全部

第2回の意見をもとに事務局で作成

今回の講座で出された意見